モリメイトの里山づくり

モリメイト通信

発行 2018 年　5 月 31 日
通算 184 号
三重県上野森林公園モリメイト
本気で遊ぼう！モリメイト

5 月 3 日（木曜日）　モリメイトフィールド周辺がすっきり！

【参加者：梶川、芝田香、芝田美、鈴木哲、山本、鈴木明　　計６名　】

「モリメイトフィールド」「カブトムシの森」周辺の整備をする。

キャタピラー車「ひらりちゃん」を使って除伐したコナラやマツの残材の片付け、枯れたコナラの大木２本の除伐、土が溜り流れなくなった溝の掃除、花菖蒲園の中と外周の草刈りなど。それぞれが適材適所で効率よく作業をし、モリメイトフィールド周辺がスッキリ。よく手入された里山の原風景に近づいてきている気がして、緑がより美しく見えた。

5 月 10 日（木曜日）　コナラの除伐と草刈り

【参加者：池本、梶川、芝田香、鈴木哲、中、山本　、鈴木明　　計７名】

長年、弁当を食べるときや語らいのひと時にお世話になったベンチの足が腐りぐらぐらしていたので修理をし、甦らせて、元の場所に設置した。これでまたゆっくりとランチタイムを楽しむことができそうだ。

その後、「カブトムシの森」にある枯れ始めているコナラの大木を除伐した。遊歩道の近くにあり、枝が折れて来園者に当たる可能性もあるということで急いで除伐することにした。

午後からは草刈り。草がどんどん伸びていくこの時期、毎週、刈払機で下草を刈る作業は欠かせない。この刈払作業は、立った姿勢で歩きながら、両手を使って行う作業であり、また暑いさなかでの労働負荷の大きな作業である。転倒しないように、刈刃に跳ね飛ばされたものに当たらないように、振動障害の可能性もあるので長時間続けないように、水分補給も十分にするように、気を付けながら作業を行っている。「本気で遊ぼう！モリメイト」、今日もよく頑張った！

5 月 17 日（木曜日）

チルホールを使ってコナラの除伐・草刈・モリメイト会議

【参加者：梶川、杉、鈴木哲、中、山本、鈴木明　　計 6 名】

初めに「、俳句の森」のコナラを 1 本除伐。ヨシの池に倒れないようにチルホールを使って遊歩道側に倒した。次に、外周の西側の竹林の中のコナラ 2 本除伐。

台湾から帰国した杉さんの「緑の中で体を動かすのって気持ちいいね。」の声に元気復活。いつも以上に楽しい作業となった。

5 月 24 日（木曜日）

市民活動支援センターの取材を受ける

【参加者：池本、梶川、芝田香、鈴木哲、中、山本、鈴木明　計 7 名】

伊賀市市民活動支援センターの取材を受け、活動内容やモリメイトの思いなどを話した。

5 月 31 日（木曜日）池の改修に奮闘！！！

【参加者：池本、梶川、芝田香、芝田美、鈴木哲、中、山本、鈴木明　　計 8 名】

花ショウブの花が咲き始める！

多様な生物が棲息する場所を作ろうとモリメイトフィールドにある池を整備している。泥をさらい、綺麗になってきた池には、メダカやアメンボ、ヤゴなどが住むようになってきているのだが、池の水が少しずつ溝に流れ込んでいくため、水量が減り、住みついていた生き物も少なくなってきているように感じていた。そこで、水位をあげるためにかさ上げ作業を行った。池の水が流れていかないように波板を打ちこんで、周辺の泥を中に詰め込み、鉄の棒でしっかり固定した。池周辺の草も刈り、遠くまで見通せて、風がよく通るようにした。オタマジャクシやタガメ、ゲンゴロウ、タイコウチ…など水中の生き物たちが増え、トンボが飛び交い、カエルの声も聞こえる、そんな場所を想像しながら作業を終えた。